

# 人生を愉しく生きるには

梨本 昌子

【第16回】子供達は未来、大切に

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお付き合い下さいませ。毎日が情熱であふれ、楽しい日々であります様…。さて、新しいタイトルになって早16回目、1年4ヶ月経ちましたが、今回は、自分の家族の子供だけでなく、世界中の子供達が、未来にとって“希望の星”であってほしいという願いで書きたいと思います。

## <子供達は“安心”を欲しがっています>

私は娘と息子を各々一人づつ持っていて、娘には9才(女の子)、7才(男の子)、4才(男の子)、そして息子には7才(男の子)の子供、合計4人の孫がいます。ご存知ない方々も多いかもしれませんが、娘がよく私に言う事は“万が一、親である私達2人に何かあった時、子供達、つまりママの孫達が、グランマが居るから大丈夫——という様に“確実な安心感”が持てる様にグランマの存在を日々示しておいてネ”と熱心に頼むのです。という訳で日々の生活の中で、まず健康と家族への想いは第一優先しないと、楽しい毎日が送れないと思い、時間があったら娘達の子供、私の孫と何気ない時間を共に過ごし、ママやパパに言えない様な事も私には言える位の仲良しになっていたいと思っています。



多くの心理学者達も指摘していますが、子供は大人が思っている以上にsecurity(安心・保証)を求めているそうで、私達大人がそれを良く理解しないとイケないのかもしれませんが。何と言っても“子供は、未来の象徴”で、彼らの人生が世界をより明るいものにしてくれるかもしれないのです。写真は、昨年のクリスマスの頃、孫全員を引っ張ってランチを共にした時のものです。「I love you」という言葉もとても大事ですが、ハグやタッチも大切と感じました。

## <日本の子供達との交流も大事で、楽しい>

私の夢は世界中の子供達と交流したいという事ですが、それはとてつもない時間が必要ですので、まず出来るところ

から。昨年で3年目になりますが、茨城県の14才の中学生と、ここ地元ハワイにある2つの学校、ル・ジャルダン(カイリアの私立校)とワイパフの基地内にある州立中学校、ウィーラーミドルスクールの中学生との海外英語・文化交流を続けています。言葉、習慣、文化の違う各々の学生が交流する訳ですから多少の困難も伴いますが、これが結構上手いくのです!!! 日本側は半年以上かけて英語を超速スピードで勉強して来ますし、ハワイ側も少し日本語の出来る子供達を配置したり、フラを練習したり等、両校の子供達のハイタッチがいかにか大切かわかっているのも、全ての指揮をとる私には微笑ましい風景ばかりです。

子供達に教える事は、私達大人が逆に教えられ、学ぶ事だと痛感したこの3年間でした。これからも、より多くのハワイと日本との学校が交流でき、私自身の日々のプロジェクトがより愉しくなる様な“希望の星”のプランを立てたいと念願しています。写真は、ル・ジャルダンの子供達に折り鶴を教えている私。



## 梨本 昌子 なしもと まさこ

東京都出身。早稲田大学文学部社会学科卒業後、PR業界で活躍。27歳で「ウォルター・トンプソン」にスカウトされ、同社PR部門を設立、部長に就任。その後、1982年にハワイへ移住。ハワイでPR/広告エージェンシー「ナシモト&アソシエイツ」を設立。世界のトップブランドをクライアントにもち、2006年リテール(小売)業界で知事賞という大賞を受賞。2015年にも再びハワイビジネスウーマン・トップ15に入賞。2015年11月ビジネス・リーダーシップ・ハワイ賞受賞。2017-2018年PBN紙の州内広告代理店12位、クライアント数、日本人経営ではNo.1。

Eメール: nashi@nashimoto.com

